



さくら小学校
校長 廣部孝徳

新しい校舎・施設は、子どもたちがそれぞれの「居場所」を見つけられる工夫「面白いことができそうな工夫」が随所にあります。また、大枝交番が併設され、「安心・安全」な学校でもあります。ただ、それらを有効に活用していくのは、あくまでそこで過ごす人、見守る人など一人一人にかかっています。

さくら小学校の全ての子どもたちが安全に安心して、生き生きと育つことができるよう、教職員はもとより、保護者、地域の皆様、そして、この学校にかかわる全ての方々の「力」や「思い」を集められたらと考えています。

安心・安全な登下校

西門には、まちの安全を守る交番が学校と一体で整備されています。また東門には守衛室が配置されており、安心・安全な登下校を実現します。



西側外観



東側外観

まちのシンボル “くすのき”を囲う空間

さくら小学校には、地域の歴史を受け継いできたくすのきを校舎が囲うように2つの屋外空間を整備しています。

「ふれあい広場」は、1階だけでなく上下階でのつながりや多目的室との一体利用など、学年を超えた交流が可能です。また「芸術広場」は、隣接する音楽室や図工室と連続しており、学びの場として活用できる屋外空間となっています。



芸術広場



ふれあい広場



芸術広場に隣接する音楽室



メディアホール



メディアライブラリー

学習空間の核となる メディアセンター

校舎の中央には、学習効果を学校全体に波及させる中心的な場としてメディアホールとメディアライブラリーが整備されています。メディアホールは大階段として機能するだけでなく、正面には大型映写電子黒板壁を設け、授業での活用はもちろんのこと、地域の人の利用を含む多様な使い方が可能です。メディアライブラリーには読み聞かせコーナーや、一体利用できるPCスペースなど、さまざまな学びを支援する場があります。



読み聞かせコーナー

木の温もりを感じる学校

2階の普通教室や共用部の屋根に木造を採用する他、教室表示などのサインは建設に使った木材の端材を再利用しています。このため、児童が視覚・匂い・手触りなど五感で木の良さ・温もりを感じることができる学校となっています。



木材を使用した普通教室



木材を利用したサイン



ふれあい広場のくすのきを臨む空間